



真鶴中学校だより 第二六四号

鶴からの手紙

2024
6.5

責任者
市川 麻美

運動会 今年も大成功でした

五月二十三日(木)、令和六年度運動会を実施しました。今年度初めて、平日開催となりましたが、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様においでいただき、とても暖かい運動会となりました。過ごしやすい天候(曇天)の中行うことができてラッキーだったと思います。

実行委員で話し合って競技の内容を決めたり、種目担当者が率先して運営したりして、ここ数年で新しい形の運動会にバージョンアップさせてきました。

ブロック長を中心に練習し、ブロックの絆を深めました。毎年三年生が手本となってリーダーシップを発揮する、良い伝統が引き継がれています。憧れの先輩、あんな風になりたい、そう思うことがどれほど生徒の皆さんの成長につながるか、いつも思い知らされています。

運動会でのこの経験をまた次の何かにつなげてください。

「SMILE」 いっぱい運動会！

運動会は赤、青、黄色ブロックの三チームに分かれて競いました。どのブロックも一丸となって練習を重ねて当日の競技に臨みました。

当日の競技では、順位がどんどん入れ替わり、白熱した勝負になるものもあれば、ひなづる幼稚園児と三年生との微笑ましいふれ合い種目や、世代を超えて地域の方達と一緒に取り組んだ真鶴音頭、岩音頭など、充実した運動会となりました。

生徒達の「最後まであきらめない」姿勢が競技の結果にも表れ、どのブロックが優勝するか、最後の最後までわからない展開となりましたが、優勝したブロックも、悔しい思いをしたブロックも、みんなそれぞれ素敵なお「SMILE」でいっぱいでした。

運動会を終えた生徒の感想を紹介します。



【一年生】

中学生になって、初めての運動会は、協力してみんなで創り上げた運動会でした。

うれしかったことは、ロープジャンプです。最初は一回できるかできないかの二択でした。あれからブロック

練習でいっぱいやり、当日五十九回という結果になりました。黄ブロックには勝てなかったけど、最初は一回できるかできないかだったのが、五十九回までできたのは、ブロックで協力しあった結果だと思っています。それが「協力してみんなで運動会を作る」ということだということがわかりました。

一年一組 朝倉 瑠唯

私は、本当に中学の運動会が楽しかったです。先輩から小学校とは全然違うと聞いていたのですごく楽しみでした。実際にやってみると、小学校とは違って午後まであることや、小学校とは全然違う競技があったり、みんなで協力することのできるようになったりして、すごく楽しくて、すごく楽しかったです。というより何より、かなりの接戦になってドキドキ、ワクワクでした。次の運動会もすごく楽しみ、いや楽しくしていこうと思います。

一年一組 鈴木 凜也



【二年生】

ロープジャンプを一番練習して本番はいつもの倍飛べたので練習の成果が出たと思います。綱引きも予行はボロ負けだったけど、先輩から教えてもらったことをやるのができたから良かったし、達成感を味わうことができました。来年は、最後の運動会になるので、一、二年の子達をリードできるように頑張ります。また、雰囲気も私たちが良くできるように頑張りたいです。

二年一組 古正 鈴桜

【三年生】

「ありがとう。」この運動会で同じブロックの仲間にはこの言葉しかない。

今年の運動会は僕にとって、最高の運動会だった。でもそれは同じブロックの仲間がいたからこそだと思った。



ツク練習はみんなバラバラで種目も全部最下位でこれから大丈夫だろうか、と思った事が多かった。でも運動会当日はどうだっただろうか。練習では全部最下位だったけど当日は最後まで優勝する色が変わらないような大接戦だった。ここまで大きく変わることができたのは誰のおかげとかではなくてブロック全員のおかげだと思った。元気な一年生は全てにおいて全力で行ってくれたし、二年生は一年生を引っ張って、三年生を手伝ってくれた。本当に「ありがとう」しかないと思った。

ブロックの順位は残念ながら三位だったけど、結果が全てではないと思う。ブロック解散式では一年生から三年生、多くの人が泣いていた。みんな全力で取り組んでいたからこそその涙だと思う。

三年生は今年で最後だったけど、一、二年生は来年も全力で取り組んで最高の思い出を作りたい。

三年一組 春原 朝陽



第一回学校評議員会

五月二十八日に、真鶴中学校第一回学校評議員会が行われました。令和六年度の学校評議員の皆様、校長より委嘱状をお渡ししました。

学校評議員会では、先日の運動会や、当日の授業を参観した感想、そしてよりよい学校に向けたご意見をいただきました。

運動会について、生徒の皆さんが和気藹々(わきあいあい)として取り組んでいた、幼稚園児童とのふれあい競技では、三年生がとても優しく気を配っていることが感じられた、真鶴音頭、岩音頭では地域の方に教わって、さらに当日は一緒に踊ることができたことが良かった、などの感想をいただきました。当日の授業の様子を見ていた

だいた感想では、生徒同士の対話を中心とした学び合いの授業について、自分たちが受けた授業の形



を見ていた

教育実習生との 出会いと別れ

と変わってきていると感じた、ということでした。また大きな地震など、町で災害があった場合の中学生の役割などについての話題もありました。限られた時間でしたが、たくさん貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

五月十三日より三週間の間、本校に社会科学の教育実習生が来ていました。短い間でしたが、生徒達と一緒に過ごし、将来の目標に向けて学んでいきました。

最後に、真鶴中学校の生徒に向けたメッセージをいただきました。

三週間ありがとうございました。授業や休み時間、運動会の練習の中で全学年たくさんの生徒と関わることでできました。二年生への最後の挨拶で言えなかったことがあるので言います。みんなからすればただの実習生の一人だったかもしれないが、自分にとっては初めての生徒でした。忘れられない思い出がありました。改めて三週間ありがとうございました！

古川 直樹